

スズキ、インド・グジャラート工場生産車の輸出開始

スズキ株式会社は、本日、インドの四輪車生産の 100%子会社「スズキ・モーター・グジャラート（SMG）社」で生産した新型スイフトの輸出を開始した。

今回、輸出したモデルは 2018 年 1 月から SMG 社で生産を開始している新型スイフトで、マルチ・スズキ社を通じて、ムンバイ港から南アフリカへ向けて出荷した。

インドからの輸出は、欧州、日本、アジア、アフリカ、中南米など、100 を越える国や地域に広がっており、2017 年度の輸出台数実績は 12 万 6 千台（前年比 102%）となっている。

SMG 社の生産車を輸出するのは初めてであり、今後はさらに輸出先を拡大し、インド政府が推進する「Make in India」に協力していく。

SMG 社は、インド国内自動車市場の旺盛な需要への対応と海外への輸出拡大に備えて、スズキ 100%出資により設立した生産子会社で、第一工場は 2017 年 2 月より稼働を開始し、生産能力は年間 25 万台である。さらに、2019 年初の稼働開始を目指して第二工場の建設も進めているほか、第三工場も計画しており、3 工場を合わせた生産能力は年間 75 万台となる予定である。

SMG社の概要

社名： Suzuki Motor Gujarat Private Limited（スズキ株式会社 100%出資）
所在地： グジャラート州ハンサルプール
社長： 相澤 直樹（スズキ株式会社参与）
敷地面積： 260 万 m²
生産車種： バレーノ、スイフト
生産能力： 年間 25 万台（第一工場）